

公共事業環境配慮書

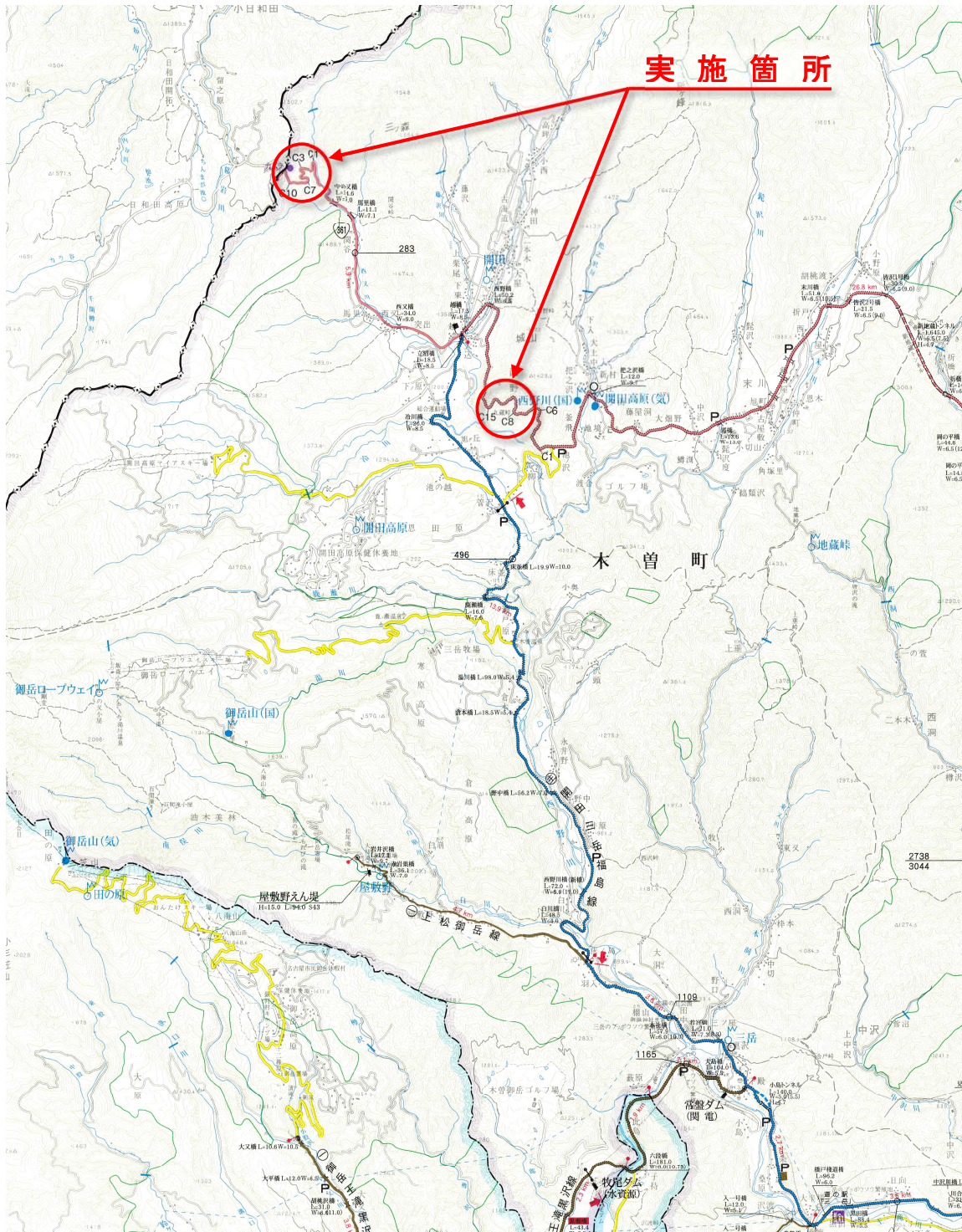
建設部 道路建設課

事業名称		
事業名	道路改築事業	
整理番号	R5-9	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	木曾郡木曾町	
箇所名	長峰～九蔵	
事業年度	令和2年度～令和10年度	
事業概要		
目的	一般国道361号は岐阜県高山市より伊那市高遠町に至る幹線道路である。岐阜県境である木曾町の長峰峠から九蔵峠の区間は、線形不良および幅員狭小な箇所があり、大型車のすれ違いが困難な区間があり、観光バス等の円滑な走行に支障をきたしている状況である。 当該区間を整備することで、線形不良および幅員狭小区間の解消を図り、観光バス等の円滑な走行性を確保する。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	九蔵峠区間 L=270m W=5.5(7.0)m 長峰峠区間 L=1,450m W=5.5(7.0)m	
関連する事業計画	しあわせ信州創造プラン、長野県広域道路交通計画	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	県立自然公園 普通地域	
土地利用規制の状況	森林法の保安林等	
その他	なし	
社会的要素 留意すべき地域の概況		
交通の現況	交通量は3,044台/日である。	
土地利用の現況	山地・丘陵である	
生活関連施設の現況	事業区域内に住居はない 事業区域の東側に木曾町役場開田支所がある	
その他	特になし	
自然的環境要素 環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
	【騒音、振動の防止】	
・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。		
【悪臭の防止】		
・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。		
・悪臭原因物質の使用、保管等の管理を徹底する。		
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある
	【水質汚濁の防止】	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	・チェーンソーを使用する際は生分解性チェーンオイルを使用する。	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
【水循環の保全】		
・水田や地下水・湧水を保全する。		
・河川においては下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。		
・構造物や周辺土地利用を考慮したうえで、可能な箇所については浸透樹を設けるなど検討し、河川への流出抑制対策に努める。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や区域の改変を出来るだけ避ける。	
	【改変面積の最小化】	
	・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。	
・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。		
・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。		

野生動植物	留意すべき地域の概況	里山の地域である カモシカ(国の特別天然記念物)の生息・生育地周辺である 希少性の高い動植物の生息・生育地周辺である	
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】 ・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。		
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】 ・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。 ・重要な植物の移植・播種又は重要な動物の移動を行った場合は、定着や繁殖の状況の確認を行う。		
	【動物の繁殖期における影響の低減】 ・重要な動物が工事区間周辺で確認できた際は、繁殖期や産卵期に配慮した工程を検討する。		
	【地域独自の生物多様性の保全】 ・車両、資機材、作業着、靴等を適切に洗浄し、外来種の持込み防止に努める。		
	【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】 ・想定される影響はない。		
	景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
		【すぐれた景観の保全】 ・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
		【良好な景観の育成】 ・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。 ・植栽などの緑化に対し、外来種の移入を防止する。	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし	
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】 ・想定される影響はない。		
	【自然とのふれあい空間の創出】 ・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	町の天然記念物(九蔵のチャートの褶曲)の周辺である	
	【文化財等への配慮】 ・想定される影響はない。		
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】 ・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。		
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】 ・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。		
	【資源の有効利用】 ・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】 ・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 ・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。		
	【エネルギーの有効利用】 ・想定される影響はない。		
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】 ・想定される影響はない		
	【電波障害への配慮】 ・想定される影響はない		
	【光害への配慮】 ・想定される影響はない		

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	水環境	流域治水推進のため、河川への流出抑制対策(浸透側溝や浸透柵などによる雨水の地下浸透等)を可能な限り検討願います。	【水循環の保全】に、「構造物や周辺土地利用を考慮したうえで、可能な箇所については浸透柵を設けるなど検討し、河川への流出抑制対策に努める」を追記しました。
2	野生動植物	周辺は、草原性の希少植物や希少昆虫の食草が生育する地域であるため、事業に際しては十分に調査を行い、影響を回避・低減するよう努めてください。	留意すべき地域の概況に、「希少性の高い動植物の生息・生育地周辺である」と追記しました。 【野生動植物の生息・生育空間の保全】に、「重要な植物の移植・播種又は重要な動物の移動を行った場合は、定着や繁殖の状況の確認を行う」を追記しました。 【地域独自の生物多様性の保全】に、「車両、資機材、作業着、靴等を適切に洗浄し、外来種の持込み防止に努める」を追記しました。
3	景観	植栽などによる緑化に際し、外来種の移入・拡大による在来植物への影響を招くことのないよう留意してください。	良好な景観の育成に、「植栽などの緑化に対し、外来種の移入を防止する」と追記しました。
4	文化財等	事業箇所に、国の特別天然記念物カモシカの保護地域が含まれているので、事業による生息環境への影響を回避又は最大限低減するよう努めてください。 また、九蔵峠展望台付近には、木曾町指定天然記念物が所在しているので、工事に際しては、現状変更とならないよう留意してください。	留意すべき事項に、「カモシカ(国の特別天然記念物)の生息・生育地周辺である」と追記しました。 【動物の繁殖期における影響の低減】に、「重要な動物が工事区間周辺で確認できた際は、繁殖期や産卵期に配慮した工程を検討する」を追記しました。 留意すべき地域の概況に、「町の天然記念物(九蔵のチャートの褶曲)の周辺である」と追記しました。なお、工事計画箇所は、町の天然記念物(九蔵のチャートの褶曲)と離れているため、工事による文化財への影響はありません。

位置図



この地図は「測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R4KTf19」を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものの一部を転載したものである。